

都 市 経 済 委 員 会 会 議 録

招 集

令和5年8月21日（月）午前10時 委員会室

出席委員（8名）

（委員長）田 村 謙 介 （副委員長）大 下 哲 治

岡 田 啓 介 徳 田 博 文 中 田 利 幸 又 野 史 朗

松 田 真 哉 森 田 悟 史

欠席委員（1名）

奥 岩 浩 基

説明のため出席した者

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 森井議事調査担当局長補佐 松下調整官

傍 聴 者

津田議員

報道関係者0人 一般0人

協議事件

- ・ 委員派遣（行政視察）について

~~~~~

### 午前10時00分 開会

○田村委員長 ただいまから都市経済委員会を開会いたします。

奥岩委員から欠席の届出がありましたので、御報告いたします。

本日は、委員派遣（行政視察）についてを議題といたします。

行政視察については、先日の委員会で実施するとの決定がされましたが、まず、実施日についての協議をいたします。

皆さん、スケジュール帳をお開きください。

委員長案といたしまして、11月の第1週、10月30日月曜日から11月2日木曜日、または第2週、11月6日月曜日から11月10日金曜日までの間の2泊3日を考えておりますが、これでもよろしかったでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○田村委員長 よろしいですね。

〔「はい」と声あり〕

○田村委員長 ありがとうございます。それでは、このいずれかで決定をしたいと思いますが、この間の個人の予定等を照らしながら、最適な日にちというのを絞っていきたいと思います。

委員の皆様の中で、この間でこの日は駄目だというような日にちがありましたら、先にお申し出ください。

特にありませんか。ないですか。

○中田委員 2週までだったら大丈夫ですね。

○田村委員長 よろしいですかね。では、もちろん先方の日にちによって、前後というのが出てくるかも分かりませんが、当座いつということで決めたいと思いますが、どういたしましょうか。ありましたら御提案ください。

岡田委員。

○岡田委員 この10月の終わりのところ、金曜日も休みじゃないですか、連休になる。11月6日から10日のほうが何となく、いいような気がするんですけど。

○田村委員長 なるほど。

ほか、徳田委員。

○徳田委員 私も岡田委員に賛成です。そのほうがいいと思います。

○田村委員長 じゃあ、皆さんにお伺いしましょうかね。

又野委員。

○又野委員 それで構いません。

○田村委員長 よろしいですか。

松田委員。

○松田委員 私も。

○田村委員長 よろしいですか。

森田委員。

○森田委員 はい。

○田村委員長 よろしいですか。

中田委員。

○中田委員 そのほうが多分、上のところは繁忙期だけん、高いと思う。その次のほうがいいですね。

○田村委員長 なるほど、なるほど。

大下委員、よろしいですか。

〔「それで」と大下委員〕

○田村委員長 分かりました。では、11月6日から10日までの間ということにいたしますが、この3日間、事務局伺いますが、3日間を決めなきゃいけませんか。

〔「はい」と森井議事調査担当局長補佐〕

森井議事調査担当局長補佐。

○森井議事調査担当局長補佐 ちなみに、6、7、8が総務、総務が6、7、8です。民生が7、8、9になっています。

○田村委員長 結局、一緒ということですよ。かぶってもこれは問題ないですよ。

〔「問題ありません」と森井議事調査担当局長補佐〕

〔「問題ない」と中田委員〕

○田村委員長 ということでございます。

これで、じゃあ真ん中取って、7、8、9にいたしますか。よろしいですか。

〔「はい」と声あり〕

○田村委員長 じゃあ、これで仮決めにさせていただきます。

もしかすると、これも事務局のほうで、この日はちょっと、次の日のほうがみたいな話

がもしかすると出るかも分かりませんが、とりあえず7、8、9で当委員会は決定をしたいと思います。

確認ですが、皆さんよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○田村委員長** ありがとうございます。それでは、御異議なしと認め、そのように決定をいたします。

次に、視察先及び調査項目については、お手元に配付しておりますとおり、あらかじめ委員の皆様から御提出をいただいております。

この一覧表についての補足説明等ございますでしょうか。

奥岩委員から補足説明をいただいております。これについては報告させていただきませんが、松田委員、徳田委員のほうから先に御説明、追加等ございましたら、お願いしたいです。

松田委員。

**○松田委員** 簡単に。私のほうは、3か所一応上げさせていただいております。1番上の青森市の駅前開発については、もともと商業施設だったところがテナントが抜けてしまって、ただその後どうするかというところで庁舎の一部が入ったという例です。あまり成功事例ということではないので、最初のスタートからすると、ただある程度うまくいかなかったケースというのも見習うところとか、参考にするところがあるのかなというところで、上げさせていただきました。

次の沖縄県うるま市については、企業誘致について、結構力を入れているような情報が入っております。有償で企業誘致の推進の事業を民間と有償契約を結んだり、特区があったり、いろいろこの辺りで参考に、企業誘致というところで参考になるのではというところで上げさせていただきました。

一番最後、大東市については、morinekiprojectというので、もともと市営住宅があった、建て替えにあわせて市営住宅を含めて、民間の企業のテナントも誘致しているというところで、こちらなんかは人口規模も、うるま市もそうなんですけど、似たようなところもあるので、参考になるのかなというところで上げさせていただきました。以上です。

**○田村委員長** ありがとうございます。続きまして、徳田委員のほうからお願いできますか。

徳田委員。

**○徳田委員** 大体見ていただいて分かるとおりでありますが、簡単に概略申し上げますと、高崎市は行政の側から今いろんな国のほうも法律が変わって、特定空家認定だとか、いろんな部分で出りますが、主に行政の助成制度で空き家を解消していく、空き家ごとなくしていくという、米子市にも適用できる部分ではないかということで上げさせていただきました。

滝沢市ですが、スマート農業と一言に申し上げましても、いろんなやり方があるということで、形から入るのではなくて、地域に根づいた格好で、官民連携でやっていく。そういう仕組みづくりこそ大事だということで非常に参考になるのではないかとということで上げさせていただきました。

最後の浜松市でございますけれども、今当市も下水道事業のコンセッション方式ということで進めておりますけれども、ここは全国的に見ても、コンセッション方式、かなり成功した事例ではないかということで、今後の下水道の事業、当市の下水道事業にも大いに参考になると思ひまして、上げさせていただきます。以上です。

**○田村委員長** ありがとうございます。それでは、ちょっと元に戻っていただいて、奥岩委員の視察項目について補足説明をさせていただきます。

1番目、首里城の復元というやつなんですけど、これ私も要望しておる内容でございますが、令和2年に設計、令和4年度に工事着工し、令和6年度に完成予定ということで、御存じのとおり焼失した文化財でございますが、これの復元ということでございます。もちろん既存の資料等もあったんでしょうけれども、過去の昔の古写真等の掘り起こしによって、窓の形が変わってくるとか、いろいろ修正がかかって、実態に即した復元を目指しているということですので、私もかねがね言っている米子城、昨日までも非常ににぎわっておりますけれども、バルーンですね、岡田委員大変お疲れさまでしたということで、そういったものを市民の意識の中にはやはりぜひ復元をという声も高まっている中ではこういったものも非常に有効ではないかと、参考になるというふうを考えて提出をしております。

次のうるま市でございます。これも勝連城跡、こちらの世界遺産の登録、文化・歴史の遺産をいかにまちづくり等に活用するかというところでのBTO方式で物販・飲食を提供しているというところでございます。本市におきましても、サウンディング調査しておりましたね、そういった方式というのは民間活用でいけるんじゃないかと、その参考になるというふう考えております。

次の与那国島でございますが、これはワーケーション誘客ということで、夏場の需要の拡大、宿泊費助成等、行政のほうから来てくださいというような、誘客を非常に熱心にされているというところで、自然豊かな本市にとっても非常に参考になるという感じを考えております。

次の宮古島でございますけれども、再エネルギーサービスプロバイダ事業というやつですけど、これをやってまして、地域マイクログリッドというのを来間島というんですか、ここでやっているというところです。地域のエネルギーを地元でつくって、地元で消費していくという考え方でして、これも脱炭素であるとか、脱原発とかそういった中でも、非常に参考になる先進事例だというふう考えております。

次の浦添市ですね、島桑、これ僕よく分かんないんですが、官民連携による島桑の研究開発、島桑という植物か何かですかね、それを6次産業化し、健康食品化し、販売しているというのを行政も一緒になってやってるということですので、6次製品の開発というところであります。

次、長崎県島原市、ロケツーリズムということでありまして、シティプロモーション化のロケツーリズム班というところが、施設の交渉であったり、施設の紹介等、ロケ弁のケータリングや市のサポート体制を充実させることによって、全国からそういった撮影を当地でやってくださいということを売り込んでいるということで、成功している事例だということでもあります。

次、佐賀県みやき町でございますが、平成30年、ガバメントクラウドファンディング

によるスマート農業の活性化を実施されているというところであり、これも本市には有効ではないかという提案であります。

次、宮崎市であります。ICT企業誘致でございますが、ICT人材確保に産官学連携による技術者と市内企業のマッチング等を行っておるといふ先進事例であります。同じく宮崎市であります。都市再生整備計画、アミュプラザなどとなっておりますが、JR九州及び地元企業との連携により駅周辺の再開発、中心市街地都市再生整備計画、これもウォークアブルの補助事業であります。やっておられるということで、本市ともかぶる、参考になる事例だということでもあります。もう一つ、総合スポーツ戦略都市ということで、同じく宮崎市のスポーツ推進計画に基づいて、スポーツ戦略をやっておられるということでもあります。

次、宮崎県延岡市であります。東九州バス化構想、フランス・スペインにまたがるバス地方をモチーフとして、海・山・川の恵みを生かして、食との連携を基にした文化圏・経済圏の形成をされていらっしゃるということでもあります。

次、大分市でございます。平成13年、大分駅南土地地区画整理事業であります。平成13年に大分駅の南地区計画、これができて、令和2年に駅南まちづくりガイドラインを改正されて、建物デザインであるとか、広告・看板、緑化などについてのガイドラインを設け、平成8年から令和3年度にかけて実施されたと、周辺整備事業をされたということでありまして、本市の駅南開発にも十分参考になるのではないかと考えております。

次、大分県佐伯市、これがさいき城山桜ホール周辺地区都市開発ということでもあります。令和元年度都市景観大賞を受賞したということとして、さいき城山桜ホールや広場、街路灯、バスロータリーなどの一体整備を実施されたということでもあります。次、東九州バス化構想というのは先ほど述べました延岡市と同様だということでもあります。

次、熊本市であります。クロスポイント、起業支援ということで、スタートアップ支援施設、熊本駅直結の施設として起業支援をされていらっしゃるということでもあります。

以下については、奥岩さんのほうからは補足説明はございませんでした。以上でございます。

皆様の感覚としまして、宮崎もいいな、青森いいなというわけにはいきませんので、やはり方面を決めなきゃいけません。上か下か。どっちかということで、山陰を起点として。今の状況を見てますと、非常に本市から南のほうの優良先進事案が多いような気が、私はしております。それでも下のほうだというような御意見があればなんですけれども、皆さんいかがでしょうか。方面を絞るということに関しては今回については南のほうで集結させたらどうかと思いますが、それについての御意見ありませんか。

〔「いいと思います」と声あり〕

**○田村委員長** よろしいですか。よろしいですか。

〔「はい」と声あり〕

**○田村委員長** ありがとうございます。特に異論等ございませんので、それでは南のほうということで、考えていきたいと思っております。

そしたら、補足説明等先ほど私も言いましたけれども、各都市の補足説明、各委員からございました。これを総合して、皆さんのほうから質疑等ございませんでしょうか。

松田委員。

○**松田委員** リクエストというか、検討していただきたいのは、やっぱり人口規模があまり大きかったりすると、私も1回しか昨年行ってませんが、どこまで参考になるのかなとちょっとピンとこなかったのが、あともう一つ、なるべく市内のレクチャーもなんですけど、現地・現場を見て、というのをやっていただいたほうがやはり見て感じれる、分かるところがあると思うので、検討いただければと思います。以上です。

○**田村委員長** ありがとうございます。ほかに御意見ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○**田村委員長** それでは、皆さんにお諮りいたします。

委員派遣に際しては、相手方の都合もありますので、皆様からいただいた御意見をもとに、詳細については委員長・副委員長に御一任いただきたいと思いますと考えております。

これに御異議ありませんか。

〔「なし」と声あり〕

○**田村委員長** 御異議なしと認めます。それでは、そのように決定をいたします。

それでは、以上で都市経済委員会を閉会いたします。

**午前10時17分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

都市経済委員長 田 村 謙 介